

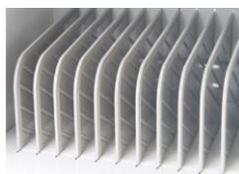
タブレットPC充電保管庫(電源キャビネット)

--ご導入時に確認すべきポイントについて--

文科省GIGA標準仕様に加えて学校での運用を考慮した際のポイントをご紹介します。

□ 収納サイズ (タブレットPC1台あたり) は出し入れの余裕をプラス

タブレットPCサイズ(利用するケースを含む) が収納できることに加え、利用時の出し入れのしやすさを考えて、収納時の高さに余裕があるタイプを採用してください。



高さは300mm程度あると出し入れがしやすくなります。

ここが
ポイント

□ ACアダプタの取外しを考慮しておくことも大切

タブレットPCの教室からの持ち出し、クラス替えによる収納台数の変更、急な充電切れに対処する場合、ACアダプタを保管庫から取外して利用することが考えられます。いざという時のためコンセントの位置や向き、配線方法等の作業性を考えたタイプを採用してください。



ACアダプタの取付や取外しがしやすい個別コンセントタイプをお勧めします。前面から作業も可能です。OAタップの場合、設置状況によっては一度外したACアダプタを元通りに戻せなくなる場合があります。

ここが
ポイント

□ 長く使う保管庫。安全性への意識が高い保管庫がやっぱり安心

教室に固定して長期的に利用する保管庫です。安全性については衝突時の考慮がされており、また充電機能(多台数時の輪番充電)も含めた保管庫全体としてPSEマーク(電気用品安全法)を取得している安全性の高いタイプを採用してください。



本体天板と扉の四角R(曲面)加工をしているタイプがより安全です。

ここがポイント

後付けOAタップ方式でない、保管庫全体としてPSEを取得しているタイプがより安全です。(保管庫にPSEシール貼付)



□ 運用上タブレットPCの収納状況が確認しやすいタイプを選ぶ

実際の運用ではタブレットPCが今何台収納されているか、電源ケーブルがPCにきちんと差し込まれているか、充電ランプが点灯しているか等の確認作業が発生します。日々の作業を軽減するためにも確認が容易なタイプを採用してください。



扉全体に通気孔があると扉を閉めた状態で内部の状況が確認できます。

ここが
ポイント